

(第二期)
大館市読書活動推進計画
(平成25年度～平成29年度)



平成25年3月
大館市・大館市教育委員会

はじめに

読書は人間の生涯にわたる学習活動の基盤であり、読書を通して、子どもは言葉を学ぶとともに広い世界を知り、大人にとっては多様化する社会を生きていく指針を見出すものとなっています。私たちは、読書が人間の成長に必要であることを心のどこかで感じ取っているとも言えるでしょう。

しかし、インターネットや携帯電話など情報メディアの浸透により、特に子どもの「活字離れ」が懸念されたことから、国は平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布し、さらに平成14年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定、「子ども読書の日」を定めてその環境整備に力を入れています。さらに、子どもだけに留まらず、平成17年には、文字を用いて表現されたものを読み、及び書くことを振興する「文字・活字文化振興法」が制定されました。

国の動向により、秋田県では、平成14年に「県民の読書活動推進計画」、平成20年に「第二次県民の読書活動推進計画」を策定。平成22年4月に「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」を施行し、さらに平成23年にこれを包括する「秋田県読書活動推進基本計画」を策定しました。また、県内各自治体でも「子ども読書推進計画」を策定し、主体的な取り組みを始めています。

大館市では平成17年度から平成22年度まで6年間の、子どもも大人も包括する「大館市読書活動推進計画」(第一期)を策定しました。この6年の間にも、社会環境は急速に変化を遂げ、IT機器は日常生活へさらに大きく浸透し、効率的な電子媒体による膨大な情報を瞬時に取得する事が可能になっていますが、反面、ひとりでじっくりと本に向かう機会は減少しています。しかし、子どもへの「読み聞かせ」活動は市内全域に広がり、また、メディアでも読書の必要性を説くなど、読書の機運は少しずつではありますが高まってきています。今般、この6年間の取り組みの成果や反省、新たな課題をもとに、この計画の基本理念を引き継ぎ、さらに充実させるものとして(第二期)「大館市読書活動推進計画」(平成25年度～平成29年度)を策定しました。

これは第一期計画と同様、読書活動推進に関する法律や、国・秋田県の動向を踏まえながら、大館市の読書活動の実態に即した総合的な計画です。この計画に基づき、今後さらに、家庭、地域社会、学校や関係団体などの役割を明確にするとともに、さまざまな場所で市民と協働しながら、より多くのかたが読書に親しむことができるよう、読書機会の提供や環境づくりに努めてまいります。

大館市・大館市教育委員会

目 次

(第一期) 大館市読書活動推進計画の取り組み	1
1 家庭・地域での取り組み	1
2 就学前施設や学校での取り組み	3
3 図書館での取り組み	6
(第二期) 大館市読書活動推進計画の方針	10
(第二期) 大館市読書活動イメージ図	11
(第二期) 大館市読書活動推進計画の目標	12
(第二期) 大館市読書活動推進計画の目標と施策	14
1 読書啓発活動と情報提供	14
2 読書環境の整備	15
(1) 家庭・地域での読書活動	15
(2) 就学前施設や学校での読書活動	15
(3) 図書館での読書活動	16
3 読書活動推進体制の整備	17
(第二期) 大館市読書活動推進計画の数値目標	18
資 料(アンケートの結果)	
・ブックスタートに関わるアンケート	19
・放課後児童仲良しクラブの保護者アンケート	21
・就学前児童の保護者へのアンケート	24
・小・中学校の読書活動についてのアンケート	26
・図書館と読書についての利用者アンケート	31

(第一期) 大館市読書活動推進計画の取り組み

1 家庭・地域での取り組み

ブックスタートの導入

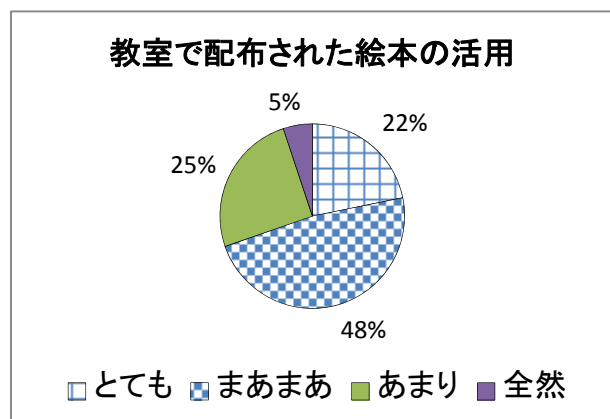
平成18年度から、生後5か月児対象の「親子ふれあい教室」の中で、ブックスタートを開始しました。「親子ふれあい教室」では保育士による親子遊び、保健指導などに加え、ブックスタートの導入により、絵本の読み聞かせボランティアによる読み聞かせや絵本の紹介、絵本のプレゼントを実施しています。参加者は平成22年度までの5年間で1,423名、実施後のアンケート(回答者1,351人)では、ほとんどのかたが「絵本を家で読んであげようと思う」と回答しています(1,341人、99.3%)。

ブックスタート事業後の10か月児健診時のアンケート結果(平成19年度から平成23年度集計)によると、家庭での読み聞かせは、「毎日実施している」236人(9.2%)、「時々」1,677人(65.4%)と、読み聞かせを実施している家庭は1,913人(74.6%)となっています。乳児とのふれ合いに読み聞かせが肯定的に捉えられ、日常生活に定着してきている様子が推察されます。また、読み聞かせの開始平均月齢は5か月後半(5.6か月~5.8か月)でした。絵本の所持数は、0冊から最高700冊と幅が広く、平成23年度の平均所持数は17.8冊でした。教室で配布された絵本を活用しているかの質問に、「とても」305人(21.7%)、「まあまあ」669人(47.5%)、「あまり」353人(25.1%)、「全然」71人(5.0%)と、7割のかたが活用しています。

ブックスタートは、親子のふれ合いを通して子どもと絵本を結び付け、また読み聞かせの大切さに保護者が気づくきっかけとなっています。



ブックスタートでの絵本の読み聞かせ



アンケートの結果

ブックスタート

1992年にイギリスで始まった、赤ちゃんに絵本をプレゼントする活動。絵本を媒体として親子が触れ合い、楽しいひとときを過ごす大切さを伝える活動。

フレッシュパパママ教室（両親教室）での絵本の読み聞かせ

平成19年度から、「フレッシュパパママ教室」でブックスタートの一環として「絵本の読み聞かせ」を行っています。「フレッシュパパママ教室」は2回に分けて開催し、1回目は「マタニティ編」、2回目は「子育て編」というプログラムです。この2回目の「子育て編」で、親子のふれ合いの大切さ、乳幼児期から家庭で本に親しむことを学んでもらう目的で、図書館と連携し、読み聞かせボランティアによる絵本の紹介や、読み聞かせを行っています。

平成19年度から平成22年度の2回目「子育て編」の参加者は、初産婦272人、夫215人、その他11人の計498人でした。講座終了後のアンケート結果では、講座が「参考になった」490人(98.4%)、「まあまあ参考になった」4人、未回答4人でした。回答者494人のうち、参考になった内容に「絵本の読み聞かせ」と回答したかたは、約半数の238人(48.2%)でした。

講座での医師の講話、新生児人形を使った沐浴指導や育児指導のほかに絵本の読み聞かせを経験することで、母性や父性の育成と、さらに生まれてくる子どものために保護者が絵本に関心を寄せられる良い機会となっています。大人になって絵本を読んでもらうという貴重な体験は、新鮮な感動を抱かせ、家庭での「読み聞かせ」や読書習慣の形成に効果を上げています。

フレッシュパパママ教室

初めてお母さん、お父さんになるかたに安心して子育てができるよう支援するとともに参加者同士の交流を目的とした教室

児童センター・児童館等での取り組み

市内各児童館等では、館内に書架を設置し、絵本、児童書、紙芝居等を準備しています。児童館等が所有する図書のほか移動図書館車の団体貸出を利用して図書を入れ替え、来館する児童に読書を促すとともに、指導員による読み聞かせを実施しています。また、それぞれの児童館等独自の活動として、PTAが中心となって読み聞かせイベントを企画開催、また、図書館が夏・冬休みに行っている読み聞かせ会に児童を参加させるなど、児童が本に親しめるような環境整備を行っています。

ボランティアや学校との連携

学校支援地域本部事業を活用し、学校図書室の整備を地域のボランティアが中心となり進めている学校もあります。コーディネーターが橋渡し役となり、地域住民がボランティアとして学校へ協力し、図書や書架の整理、図書資料のデータ化や補修等を行いました。この協力により、学校図書室の整備が進み、児童生徒にとってはより親しみの持てる図書室として利用され、また、地域のかたの学校への理解も深まるなど、より効果的に読書活動の推進に繋がりました(P6 参照)。

また、生涯学習課では、学校や各団体から「読み聞かせ」依頼の問い合わせがたびたびある事から、図書館と協力して読み聞かせボランティア(個人・団体)の把握に努め、大館市の人材リスト「おおだて人財名簿」に登録し、紹介しています。現在は9人(個人・団体)が登録し、年平均5回以上の活動が報告されています。また、読み聞かせサポータースキルアップ研修会の開催を図書

館や公民館を通して広報しています。

課題と目標

ブックスタートは、赤ちゃんと保護者が本を楽しむ時間を持つきっかけを作っています。乳幼児期の読書は保護者の関心が重要で、その後の読書にも大きく影響します。「親子ふれあい教室」や「フレッシュパパママ教室」ともに、今後もより多くのかたが参加できるよう、事業の充実を図っていきます。

児童館等での読み聞かせをはじめ、子どもへの読み聞かせをさまざまな場所で行っていますが、家庭で大人が本を読む姿を見せることもまた、子どもの読書に大きく影響を及ぼします。そこで今後は、図書館を活用し、さまざまな図書の紹介を公民館等を通して行ったり、いろいろな団体やサークル等の活動に役立つ図書の紹介を行うなど、一般のかたの読書を支援する体制を整え、大人も子どもも家族で読書に親しめるよう活動を広げていきます。

2 就学前施設や学校での取り組み

(1) 就学前施設の取り組み

読書環境の整備

ほとんどの就学前施設では、園児の手の届くところに絵本を置き、いつでも手に取って読むことができるよう配慮しています。さらに保育士等による絵本の読み聞かせを日に数回行うようプログラムを組み、園児が絵本に親しみやすい環境を整えています。

絵本や物語を活用した遊びや、図鑑を活用した体験活動

絵本を活用しての保育は、園児同士のイメージの共有を助け、ごっこ遊びや表現遊びへ発展し、子どもの心を豊かに育成する要素となっています。

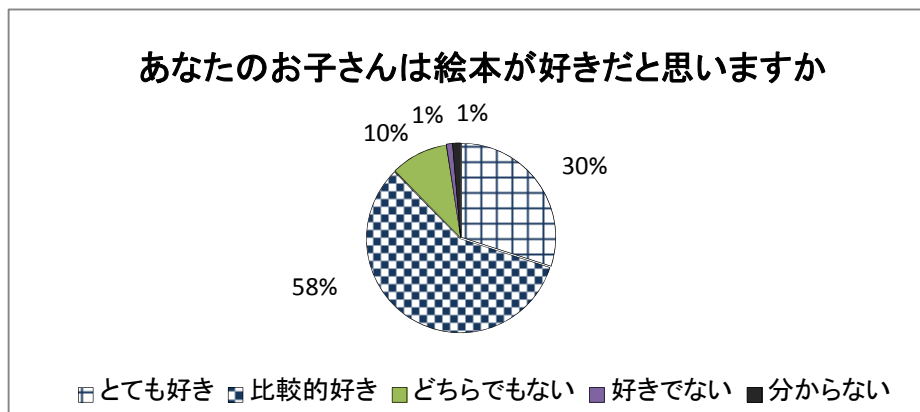
絵本以外の図書も保育の現場に活かされており、例えば図鑑は生き物の飼育や植物の栽培などの活動にとっても有効です。また、散歩や戸外遊びの時間に図鑑を持ち歩き、園児が不思議に思ったことをすぐ調べることで、知的欲求が満たされると同時に基礎的な知識を身につけることができます。



就学前施設での読み聞かせと図鑑で調べている様子

図書館体験

就学前施設によっては実際に近くの図書館や移動図書館車を利用して園児に本を借りる体験をさせたり、団体貸出や新着図書の情報提供を受けたりしています。そして、図書館体験や子ども向け絵本の紹介を園便りや園内掲示で保護者に知らせたり、保護者学習会で読み聞かせや絵本作家による講演などを行い、読み聞かせの効果や方法を学習し、家庭での読書に結びつけるようにしています。



保護者へのアンケート結果

課題と今後の活動

就学前施設では絵本の読み聞かせに力を入れていますが、市内には様々な運営形態の就学前施設があり、これらの読書活動には温度差がある事は否めません。図書購入予算がない就学前施設では新しい絵本の購入に苦慮しており、読み聞かせの際は保育士個人の本や、図書館からの団体貸出を利用するなどして対応していますが、子どもが毎日何度も手にする絵本やロングセラー絵本などは傷みが激しいため、補修しながら活用している状況です。園児にさまざまな絵本を紹介し触れさせるため、さらに図書館等と連携し、移動図書館車の巡回サービスや団体貸出による絵本の確保に努め、楽しく本を開く体験をこれからも継続していきます。

(2) 学校での取り組み

読み聞かせと地域ボランティア

小学校では、全ての学校で読み聞かせ活動が実施されており、PTAや地域のボランティアによる読み聞かせも多く行われています。教師だけでなく、保護者、地域のかた、読み聞かせの外部団体など様々な立場の方々の協力を得ながら実施することで、子どもたちに紹介する本も多様になり、読み聞かせの方法もそれぞれ工夫されたものになっています。これにより、95%の児童が「読み聞かせを楽しんでいる」と感じており、各小学校における読み聞かせの充実が、子どもたちが本に親しむ環境整備の大きな柱となっています。

中学校では読み聞かせ活動は実施されていません。発達段階で、中学生は主体的な読書に移行する時期でもあり、読み聞かせに参加するより、ひとりで読書することを好むようになります。むしろ、自分たちが年少者へ読み聞かせボランティアをする立場にもなっています。しかし、全体の3分の2の生徒は「読み聞かせを楽しんでいる」とも感じており、小学生の楽しみかたとはまた少し違った「読み聞かせ」を楽しんでいる様子が窺えます。

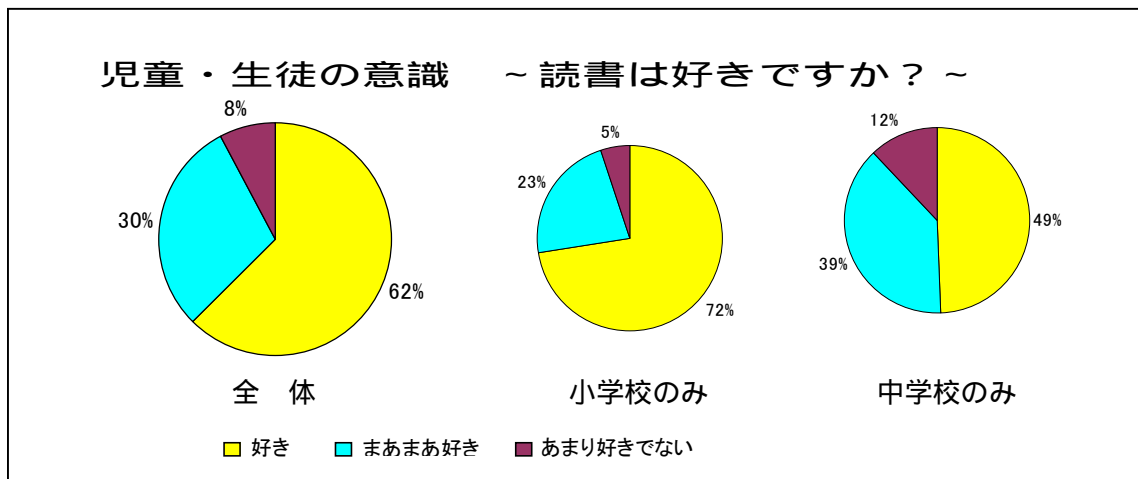
読書時間の確保と親子読書

全ての小・中学校で読書時間を確保しており、児童生徒への読書活動を日常的に推進しています。読書を強く推進する企画を実施している学校も多く、「図書日よりや学年だよりで親子読書を勧めた」「長期休業中の親子読書を推進した」など、親子読書への取り組みを実施している学校もあります。これらの取り組みにより、子どもたちに読書する習慣が身に付いてきており、「読書を好き」と感じる要因となっていると考えられます。

- ・朝読書などを行い、読書時間を確保している小・中学校数 28校(28校中)
- ・小・中学校の教育課程内で1週間に確保している読書時間 平均65分
- ・読書強調週間・月間の設定など、読書を特に勧める企画を実施している小・中学校数 23校

児童・生徒の読書への意識調査

児童・生徒の9割以上が「読書を好きだ」と回答しており、読書のよさを認め、読書を肯定的にとらえている傾向が見られます。これは、小・中学校を中心に、子どもたちへの読書推進活動を進めてきた成果だと考えられます。



読書環境の整備

大館市が配置した学校図書館支援員が、各校をまわり、図書環境の整備の手伝いをしたことで、古い本の修理、台帳の整備、レイアウトや掲示の見直しなどが大幅に進みました。学校でも図書館支援員と共に取り組む機会を得たことで、図書環境についての関心が高まっています。同時に図書のデータ化も進めてきましたが、市内小・中学校の57%がパソコンで図書の検索が可能になりました。



図書館支援員により整備が進んだ学校図書館の様子

保護者、地域のボランティアに協力を仰ぎ、大々的に図書室の改善を図った学校もありました。



保護者・地域ボランティアの協力により改善された図書室

・保護者や地域のボランティアなどの協力を得て、図書室の整備を行った小・中学校 18校

課題と今後の活動

学校における読書活動の推進は、まず、環境整備として学校図書館の運営を大きな課題と捉えています。児童・生徒の読書のきっかけとなる図書を準備し、自分で選書できる力を養い、そしてより深い読書へ移行できるよう蔵書数を拡大すること、また、安心して図書館を利用できる人的配置も重要です。学校図書館を活用した授業の実施、保護者や地域のボランティアの読書活動への参画を要請して、図書のデータ化をさらに進めて図書検索を容易にし、明るく使いやすい学校図書館を作っていくよう努めます。

また、学校では、教科や「総合的な学習の時間」の学習の充実を図るため、市立図書館の図書資料を活用しています。調べ学習で図書館を訪問して郷土資料を調べたり、学校では所蔵のない点字資料等の貸出しを受けている学校もあります。しかし、図書館を利用している学校のほとんどが小学校で、その目的の多くは公共施設の働きを調べる体験学習です。市立図書館を全く利用していない学校もあり、市立図書館まで距離があり移動手段や時間の確保が困難である、という理由が挙げられています。学習に必要な資料は学校図書館に揃っているため、という理由も見られました。しかし、児童・生徒の知識と興味の幅を広げるものに留まらず、生涯にわたる読書活動を支える基本として、市立図書館の豊富で多種にわたる蔵書を紹介する必要があります。学校図書館から市立図書館へと導いていくために市立図書館と連携して読書活動を進めていきます。

・児童・生徒の学習に、市立図書館などの公立図書館を利用した小・中学校数 13校

上記に示したデータは、学校での取り組みについては市内全小・中学校（28校）、児童・生徒の意識については抽出6校（小学校4校、中学校2校）によるアンケートを集計したものです。

3 図書館での取り組み

図書の紹介

図書館では毎月、新着図書をホームページや広報、地元紙で紹介し、利用を呼びかけています。さらにホームページでは図書や図書館への関心のきっかけとなるよう、市内4館がそれぞれお勧

め図書を選定し、表紙画像や書評等を掲載しています。また、季節や時事に関連したテーマを設け、関連図書を館内で展示し、さまざまな図書の紹介を試みています。

「読み聞かせ会」と読書感想文コンクール

図書館では乳幼児親子を対象に、定期的に「読み聞かせ会」を開催しているほか、「子ども読書の日」や「大館市生涯学習フェスティバル」等の行事に合わせて年に数回「読み聞かせ会」を開催しています。保護者は「読み聞かせ会」に参加し、いろいろな本を手に取り、子どもがどのような本に興味を持つか知ること、本と子どもとのかかわり方に役立てる事ができます。また、図書館の子育てに関連する本を紹介することで、保護者が図書館利用のきっかけとなることも多く、図書館を家族で気軽に出かけられる場所のひとつとして、生活の一部に加えてほしいと伝えています。また、ブックスタート用絵本の準備に協力するとともに、ブックスタート参加者に、図書館の「読み聞かせ会」への参加を呼び掛けています。

読書感想文コンクールは「一般の部」と「高校生の部」に分けて毎年実施しており、平成24年には43回目を迎えました。読書週間中に入賞者の表彰式を行い、入賞作は地元紙に掲載され、多くの市民の知る事業となっています。ただ、感想文の図書の選定が、年々東西の名作から離れる傾向にあり、特に高校生には東西の名作を読み、その文体や世界観に触れ、より深く考える力を身に付けて欲しいと願っています。



読書感想文コンクール表彰式



図書館での読み聞かせ会

学校との協力や児童館等への団体貸出

図書館では、授業や部活動の課題解決となる本の提供や社会科や生活科での館内見学、中学生や高校生の職場体験などを受け入れています。授業で使う本の提供は、自館の蔵書だけでは対応しきれない場合、市内外の図書館の協力も得ながら行っています。職場体験の受け入れは、すべての仕事に共通する、働く場所での自らの責任と他者への配慮という基本的な姿勢を学んでもらう機会ですが、社会教育施設としての図書館の役割についても理解してもらい、良い機会でもあります。図書館は本の貸出しだけでなく、資料の保存という役目も負っており、図書館の前身である「栗盛教育団」や貴重な郷土資料である「真崎文庫」の説明をし、先人への敬意や地域の文化財への理解を深めてもらうよう配慮しています。小学校社会科の「図書館を利用する」授業では児童全員に利用カードを準備して本を貸出し、家族との日曜来館を勧めています。最近では子どもの案内で一緒に来館し、本を借りて行く家族の姿も見られます。また、移動図書館車では児童館等に団体貸出サービ

スを行っており、平成22年には老朽化した車を更新し、田代・比内地区まで巡回サービスを広げています。平成24年度は31ステーションを巡回していますが、学校や児童館等からは団体貸出だけではなく定期的な巡回を望む声もあり、巡回コースや巡回回数を見直しを考えています。



移動図書館車「おとり号」

ボランティアとの連携、図書館後援会との協働

現在、読み聞かせボランティアが第1・3金曜日に、また学校の夏・冬休み中に少し規模を大きくした読み聞かせを行っています。図書館ボランティアは書架整理や本の補修活動を、図書館後援会が文化講演会を年に1度開催しています。図書館後援会の会報「おとり」は年2回発行され、図書館の事業の紹介や、読書についての記事を掲載しています。図書館は事務的な補助や広報を行い、図書館事業を協働して行っています。

課題と今後の活動

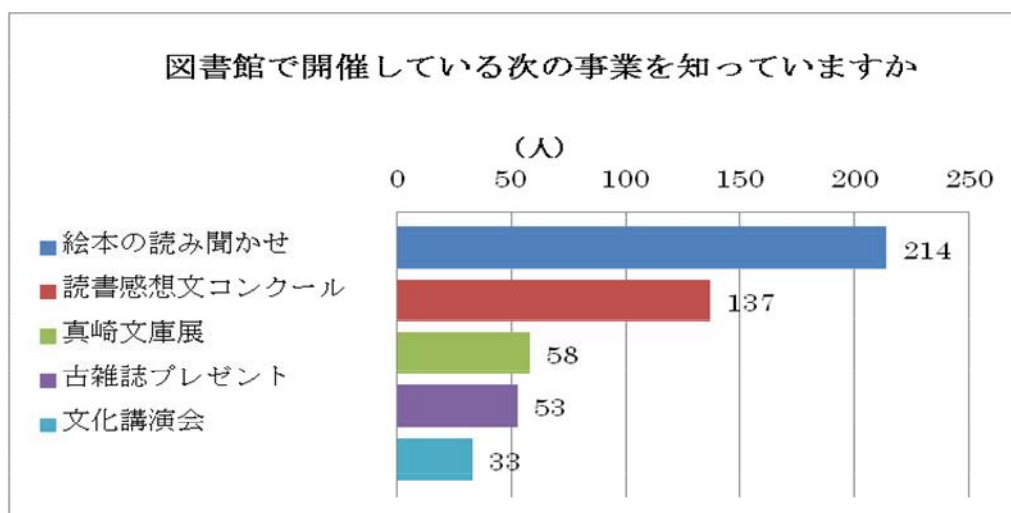
現在、各自治体の図書館では、資料費の減少と利用者の希望図書の多様化で、自館だけでは利用者へ希望図書を提供するのは困難になっており、当市図書館でも、各図書館間の図書を相互に貸出しする制度を活用し、市内外の図書館から貸出しを受けて利用者のリクエストに応えています。また、郷土資料については大館郷土博物館と出版情報を交換し、その収集に努めています。図書館活動の基本である図書の収集をより充実させるため、図書費の確保を優先課題と捉え、図書館運営経費全体の見直しを図り、図書費の増加に努めていきます。

図書館では新着図書等、図書リストの提供をホームページや広報、地元紙に掲載しています。これらの図書リストは読書の選書の際に活用され大きな役割を果たしていると言えますが、最近ではインターネットによる蔵書検索・予約サービスを望む声も大きくなっており、整備を急いでいるところです。自宅のパソコンで図書館蔵書の検索と予約が可能になることで、サービスを大きく向上させる事ができます。また、関係機関と協力し、それぞれの団体に目的別の図書リストを作成提供し、図書館資料の活用を推進します。

市立図書館と学校図書館の連携も今後の活動の大きな課題と言えます。学校図書館支援員の活動により学校図書館の整備が進み、児童・生徒が学校図書館を利用する機会が増えています。その継続のため、市立図書館は学校図書館をサポートする体制を整え、学校図書館と情報交換を密にし、学校が必要とする図書の提供をはじめ、図書館職員研修会の共同開催の実施など、協力体制を整備するよう努めます。

また、図書館で行っている事業について、さまざまな機会を利用して広報しておりますが、アン

ケートの結果、読み聞かせや読書感想文コンクールは比較的知っているかたが多かったものの、ほかの事業については知っているかたが少ないことが分かりました。



図書館事業についてのアンケート結果（回答者 384 人 複数回答）

この結果から、図書館の活動にもっと興味や関心を持ち、参加してもらえるような事業を企画すると共に、広報活動をさらに活発に行う必要があると感じています。

ホームページを充実させ、広報「おおだて」は勿論、地元紙にも掲載を依頼して図書館についての広報を行い、生涯学習の場として市民に活用していただけるよう努力していきます。

(第二期)大館市読書活動推進計画の方針

基本理念

市民一人ひとりが読書の楽しさと大切さを理解し、生涯にわたり読書に親しみ続ける事ができるよう、環境整備と施策を展開することを基本理念とします。子どもには本への興味を持ち読書習慣を身につけることができるように、大人には必要な知識を身につけ、より豊かな人生を送ることができるよう、読書環境整備と施策を総合的、かつ計画的に推進します。

計画の目標

計画の目的を達成するため、施策の基本を次の3つとします。

- 1 読書啓発活動と情報提供
市民が読書への関心を持ち、積極的に読書に向かうことができるよう、読書機会の提供と読書を継続していくための情報提供を行います。
- 2 読書環境の整備
市民の読書活動を支えるため、家庭や地域、就学前施設や学校、図書館、それぞれの立場から取り組みの役割を明確にし、連携して推進活動を実行します。
- 3 読書活動推進体制の整備
関係機関や団体、市民やボランティアと広く連携して、読書活動を多面的に支える体制を整えます。

計画の期間と対象

平成25年度から平成29年度までの5年間とし、市民すべてを計画の対象とします。ただし、計画期間中でも必要に応じて見直しを行い、記述内容の変更や修正を行うことができるものとします。

大館市読書活動イメージ図

《 みんなで読書 》

・これから親になる人への読み聞かせと絵本の紹介

フレッシュパパママ教室

・絵本のプレゼント
・読み聞かせ

ブックスタート

保育園・幼稚園

・読み聞かせ
・絵本を使った遊び
・図鑑を使った自然観察

読み聞かせボランティア

・紙芝居や絵本の読み聞かせ

乳幼児



子どもの読書活動

学校

児童館等

・図書コーナーの設置
・読み聞かせ
・親子読書行事

地域ボランティア

・学校図書館整備
・読み聞かせ

学校図書館

・蔵書の充実
・蔵書管理システムの導入
・読み聞かせ
・学校図書館を使った授業
・市立図書館との連携



・情報提供
・環境整備
・学校への協力
・蔵書検索予約システムの導入
・読書関連行事
・読み聞かせ

市立図書館

公民館

・図書コーナーの設置
・親子読書行事

読み聞かせボランティア

・紙芝居や絵本の読み聞かせ

地域 家庭



大人の読書活動

家庭での読書活動



（第二期）大館市読書活動推進計画の目標

1 読書啓発活動と情報提供

市民の読書への関心を喚起するため、関係機関はさまざまな機会を提供するとともにその情報を、さらに広範囲に発信していく取り組みが必要です。

（１）読書に親しんでもらえる行事や展示の企画と図書リストの作成

- ・「読書週間」「子ども読書の日」にちなんだ行事を企画したり、学校の長期休み中に「読み聞かせ会」を開催したり、文化講演会や読書感想文コンクールの開催など、読書に係る行事を企画します。
- ・図書館では、季節や社会の話題をテーマとした図書を展示し、新着図書や、おすすりめ本、目的に合わせた図書リストを作成して関係機関に提供します。

（２）大館市ホームページや広報「おおだて」、また、地元紙を活用した広報

- ・インターネットの普及とともに、市民はホームページから大変手軽に情報を収集できるようになりました。特に若い世代には大変有効な広報の手段となっています。また広報「おおだて」はインターネットからの情報を手にすることができない市民にとって重要な情報源となっています。読書に係るさまざまな行事をホームページや広報「おおだて」、さらに地元紙へ掲載を依頼し、市民へ積極的に情報を提供します。

2 読書環境の整備と連携

読書推進活動の展開のためには関係機関それぞれが主体的に読書環境整備の取り組みをしながら、相互に協力することが大変重要です。関係機関が密接に連携して情報や意見を交換し、協力し合って活動を展開していくことができるよう、体制を整備していきます。

（１）家庭・地域の取り組み

・子どもが読書に親しむ習慣を身につける最初の場は家庭です。乳幼児にとっては保護者等による読み聞かせが読書ということになります。絵本を繰り返し読んでもらうことにより、保護者の愛情を感じ、さらに読書の楽しさを知ることができます。また、日常生活の中で大人が本を読む姿を見せ、自然に家族全体が読書を好むようになる雰囲気作りも必要です。子どもの読書習慣の形成には家庭の果たす役割はたいへん大きいものです。そのため、乳児との遊びの中で本に親しむ方法を提案したり、これから親となる人に読書の大切さを理解してもらうための取り組みを続けていきます。

- ・公民館は子どもからお年寄りまで地域の人が気軽に集う事ができる施設です。その中に、来館者が自由に本を手取る事ができるような図書コーナーを設置するなど、さまざまな場所に本と親しむ場を設け、読書の機会を提供します。

- ・児童館等や放課後児童クラブ等のほとんどがすでに図書コーナーを設置していますが、それを積極的に子どもたちが利用するよう指導します。

(2) 就学前施設や学校の取り組み

- ・豊かな感性を育む幼児期は、絵本や物語、また自然や社会などのさまざまな本に親しむ体験が必要です。そこで保育の中に積極的に絵本や物語を取り入れた遊びを工夫するとともに、自然体験的な活動に図鑑を活用し、幼児期の知的好奇心や探求心を培い、生きる力の基礎を築きます。また、「読み聞かせ」を積極的に行い、豊かな心を育てると同時に、絵本の世界を楽しませ、図書への関心を喚起します。そして読書の必要性を保護者に理解してもらうための情報を発信します。

- ・学校では学校図書館を活用した授業の実施や、図書を充実させて利用を促進し、生涯に渡る読書習慣の確立を図ります。また、調べ学習や、社会科や生活科で地域の図書館を紹介するなど多様な指導の展開を図ります。

(3) 図書館の取り組み

- ・図書館は市民の読書活動を支える拠点となる施設です。多様化する市民の読書活動に資するため、図書資料の充実と提供を積極的に行うと共に、インターネット蔵書検索予約システムの整備や図書リストの作成提供、本に親しめる機会を企画開催します。また、就学前施設や学校の読書活動への協力、地域の住民や児童館等の読書活動を支えるため移動図書館車の巡回サービスを行います。

3 読書活動推進体制の整備

関係機関や団体、市民やボランティアと広く連携して、読書活動を多面的に支える体制を整えます。

- ・読書活動推進事業は関係機関はもとより、市民のボランティアの協力が不可欠です。「読み聞かせ」サポーターや、図書館ボランティア、地域住民による学校ボランティアなど、市民ボランティアとの協働により、読書活動を多面的に支えて展開する事が可能になります。関係機関は市民ボランティアの活動に配慮しながら活動状況を把握、そしてすべての関係機関と市民ボランティアが相互に情報を交換し、より効果的に読書活動推進が行われるよう体制を整えて行くことが必要です。

(第二期) 大館市読書活動推進計画の目標と施策

目 標	1 読書啓発活動と情報提供
施 策	<p>(1) 読書関連行事や展示の企画と図書リストの作成</p> <p>(2) 大館市ホームページや広報「おおだて」、地元紙を活用した広報</p>
活 動	<p>(1) 読書関連行事や展示の企画と図書リストの作成</p> <p>「読み聞かせ会」の定期的な開催</p> <p>学校の夏休み・冬休み中の「読み聞かせ会」や読書啓発の行事開催</p> <p>「読書週間」や「子ども読書の日」にちなんだ行事の開催</p> <p>図書館での、季節行事や社会の話題に関連する図書の展示</p> <p>公民館や児童館等での親子読書イベントの開催</p> <p>文化講演会の開催</p> <p>(2) 大館市ホームページや広報「おおだて」、地元紙を活用した広報</p> <p>大館市ホームページや広報「おおだて」への読書活動関連行事の掲載</p> <p>地元紙への読書活動関連行事の掲載依頼</p> <p>「んだすな」「べびはぐ」等、市内・県北の子育て情報誌への読書関連情報掲載</p>

目 標	2 読書環境の整備
施 策	(1) 家庭・地域での読書活動 (2) 就学前施設や学校での読書活動 (3) 図書館での読書活動
活 動	<p>(1) 家庭・地域での読書活動</p> <p>ブックスタートの継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「5か月児ふれあい教室」の中でブックスタートを実施 ・「フレッシュパママ教室」での絵本の読み聞かせの実施 <p>読み聞かせの推進と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣確立のための家庭での読み聞かせの推進 ・読み聞かせ推進月間・週間等の実施 ・読み聞かせ絵本の紹介や図書リストの提供 ・児童館等での読み聞かせの実施 <p>親子読書の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館等、公民館等における親子読書イベントの実施 ・児童健全育成団体（子ども会）への読書活動促進 ・各年代や公民館サークル活動等への目的別図書情報提供 <p>公民館や児童館等の図書コーナー設置と充実</p> <p>(2) 就学前施設や学校での読書活動</p> <p>読書習慣の確立と読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しむ時間の確保 ・絵本や物語、図鑑等を活用した遊びの実施 ・各教科等の学校図書館を活用した授業の実施 ・子どもたちが主体となる読書啓発活動の実施 ・読書推進月間・週間等の実施 <p>読書環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を充実させるための人的配置 ・児童・生徒に必要な図書資料や魅力ある読み物を提供できる蔵書の充実 ・明るく使いやすい学校図書館の整備 ・児童・生徒が図書に触れる機会を増やすことのできる校内環境の整備 ・学校図書館蔵書管理システムの導入（図書館のIT化）

<p style="text-align: center;">活 動</p>	<p>読み聞かせの継続と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた読み聞かせや、児童・生徒による読み聞かせの実施 ・PTA等による読み聞かせサークルの組織化と活動の実施 <p>学校と関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館資料の活用 ・地域読み聞かせボランティアの掘り起こし ・保護者や地域のボランティアの学校図書館づくりや、読書活動への参画推進 <p>(3) 図書館での読書活動</p> <p>情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページの充実 ・「おおだて子育てねっと」への子育て関連図書の紹介 ・読書関連行事の情報提供や、目的に合わせた図書リストの作成提供 <p>読書に係る行事の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書の日や読書週間等に関連する行事を開催 ・「読み聞かせ会」の継続実施 ・読書感想文コンクールの継続実施 ・図書館後援会による文化講演会開催への協力 ・真崎文庫展や古雑誌プレゼントの実施 <p>読書活動推進にむけた環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の充実 ・インターネット蔵書検索予約システムの整備 ・移動図書館巡回サービスの向上 <p>学校等への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前施設、児童館等や公民館、学校への団体貸出 ・小・中学校の体験学習や調べ学習への協力 ・高校生インターンシップへの協力 ・学校図書館関係職員との合同研修会の開催と連絡協議会の設置
--	--

目 標	3 読書活動推進体制の整備
施 策	<ul style="list-style-type: none"> (1) ボランティアの育成と活動の支援 (2) 関係機関やボランティアとの連携 (3) 読書活動推進会議の開催
活 動	<ul style="list-style-type: none"> (1) ボランティアの育成と活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ研修会等への参加促進と実践の場の提供 地域や学校へのボランティア参加の呼びかけ ボランティア活動団体・個人への支援 (2) 関係機関やボランティアとの連携 <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせボランティアや地域ボランティアの活動状況の把握 各ボランティアの活動情報提供 (3) 読書活動推進会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> 関係機関による読書活動推進についての情報交換 関係機関による読書活動推進計画や数値目標の進捗状況の確認

(第二期)大館市読書活動推進計画の数値目標

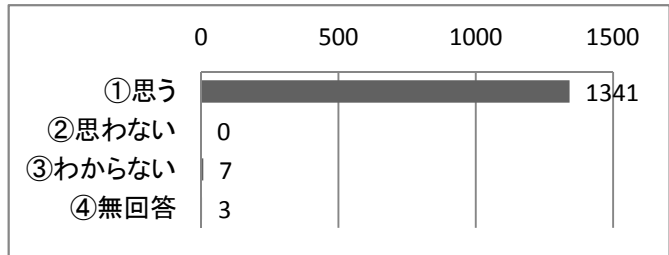
項 目	平成23年度 (実績)	平成29年度 (目標)
市立図書館の年間貸出冊数	184,834冊	222,000冊
市立図書館の児童館等・就学前施設への貸出冊数	4,675冊	7,000冊
市立図書館の小・中学校への貸出冊数	1,885冊	2,900冊
市立図書館の年間読み聞かせ会の回数	28回	40回
市立図書館を活用している就学前施設の割合	80%	90%
放課後児童クラブでの読み聞かせ会の企画回数	不定期～年3回	年6回
放課後児童クラブでの読書時間の確保	15分～1時間	平日30分以上 学校休業日 1時間以上
小・中学校での学校図書館を活用した授業を行った回数		小学校 月1回 中学校 年6回
学校図書館の蔵書がデータベース化されている学校の割合	小学校 60% 中学校 40%	小学校 70% 中学校 50%
読書強調週間等、読書を勧める企画を実施している学校の割合	小学校 100% 中学校 50%	小学校 100% 中学校 100%
市立図書館を学習に活用している学校の割合	小学校 60% 中学校 10%	小学校 60% 中学校 30%

ブックスタートに関わるアンケート

ブックスタートアンケート

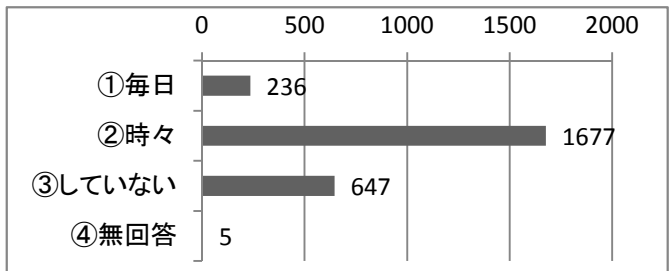
絵本を家で読んであげようと思いますか H18～H22(年度) 回答者1351人	
①思う	1341
②思わない	0
③わからない	7
④無回答	3

5か月児親子ふれあい教室時アンケート



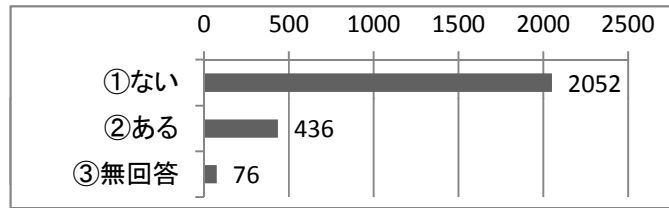
絵本の読み聞かせをしていますか H19～H23(年度) 回答者2565人	
①毎日	236
②時々	1677
③していない	647
④無回答	5

10か月児健診時アンケート



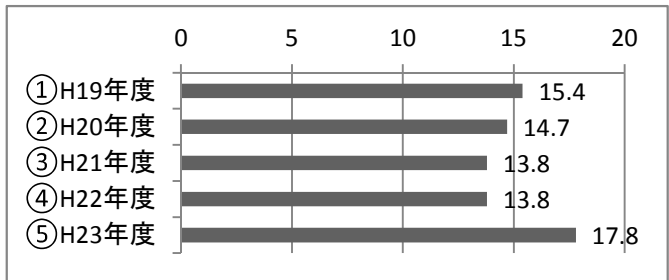
読み聞かせ会に参加したことがありますか H19～H23(年度) 回答者2564人	
①ない	2052
②ある	436
③無回答	76

10か月児健診時アンケート



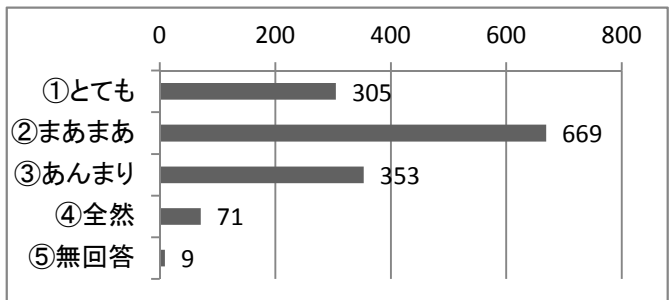
絵本の平均所持数 (冊)	
①H19年度	15.4
②H20年度	14.7
③H21年度	13.8
④H22年度	13.8
⑤H23年度	17.8

10か月児健診時アンケート

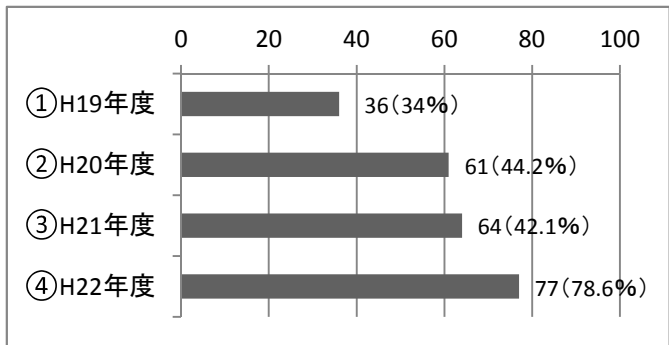


教室で配付された絵本の活用 (ブックスタート参加者のみ) H19～H23(年度) 回答者1407人	
①とても	305
②まあまあ	669
③あんまり	353
④全然	71
⑤無回答	9

10か月児健診時アンケート



ブックスタートアンケート	フレッシュパパママ教室で絵本の読み聞かせが参考になったと回答した人数	
	①H19年度	36
	②H20年度	61
	③H21年度	64
	④H22年度	77
フレッシュパパママ教室時アンケート		

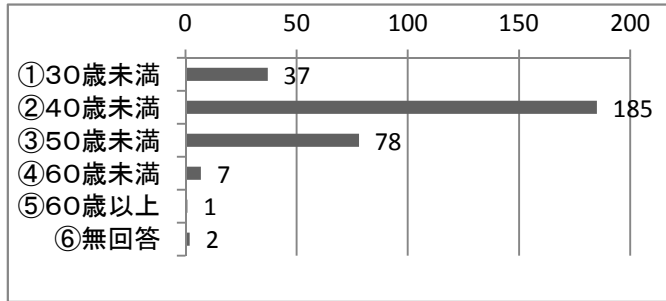


放課後児童仲良しクラブの保護者アンケート

回答者数 310人

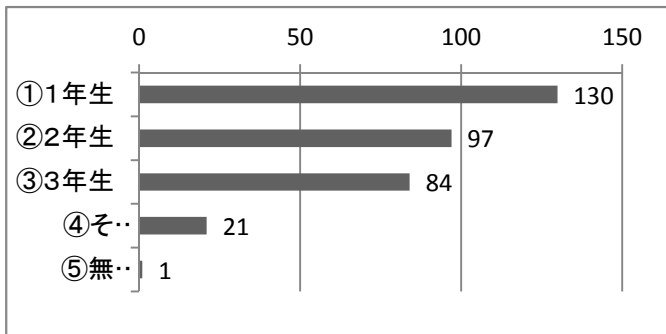
単位 人

回答者の年代	
①30歳未満	37
②40歳未満	185
③50歳未満	78
④60歳未満	7
⑤60歳以上	1
⑥無回答	2

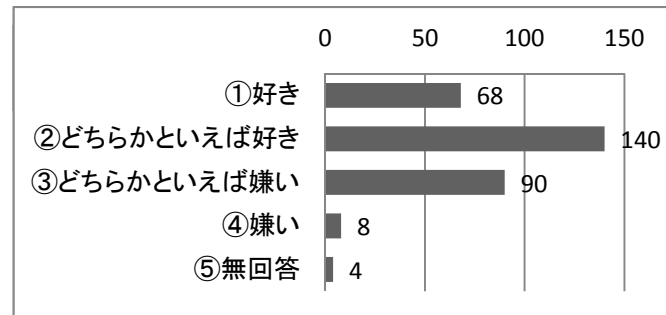


子ども(児童)の学年について	
①1年生	130
②2年生	97
③3年生	84
④その他	21
⑤無回答	1

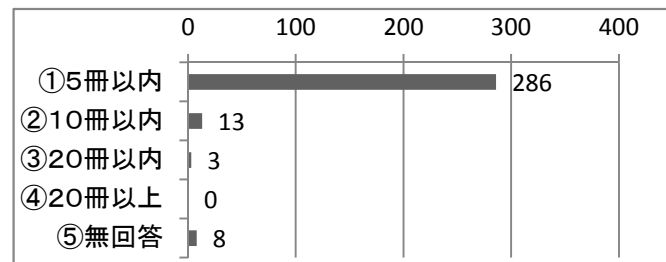
※回答者の児童が複数の場合あり



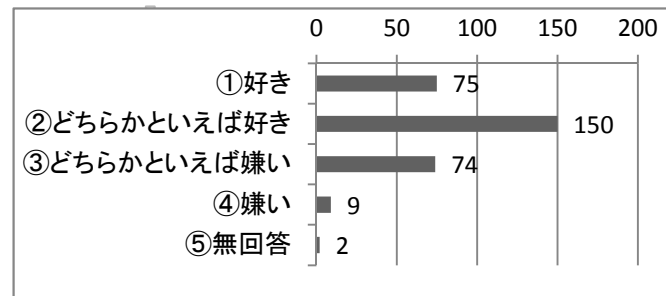
あなたは読書が好きですか	
①好き	68
②どちらかといえば好き	140
③どちらかといえば嫌い	90
④嫌い	8
⑤無回答	4



あなたは1カ月に何冊本を読みますか	
①5冊以内	286
②10冊以内	13
③20冊以内	3
④20冊以上	0
⑤無回答	8



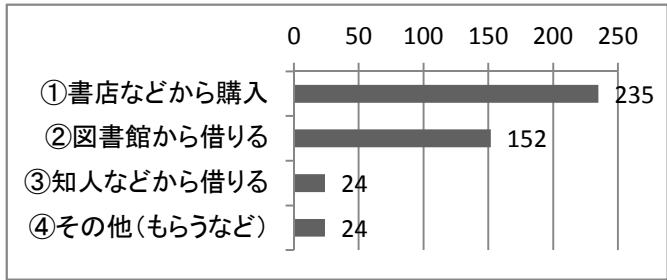
あなたから見てお子さんは読書が好きですか	
①好き	75
②どちらかといえば好き	150
③どちらかといえば嫌い	74
④嫌い	9
⑤無回答	2



読書について

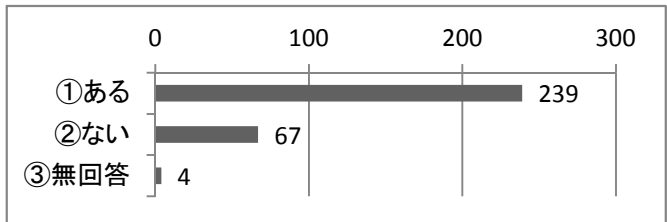
本はどこから入手しますか？(複数回答)

①書店などから購入	235
②図書館から借りる	152
③知人などから借りる	24
④その他(もらうなど)	24



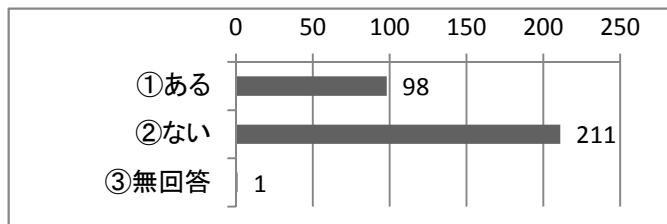
子どもに読み聞かせをしたことはありますか。

①ある	239
②ない	67
③無回答	4



読み聞かせに参加したことはありますか

①ある	98
②ない	211
③無回答	1



読み聞かせについて

「ある」の理由

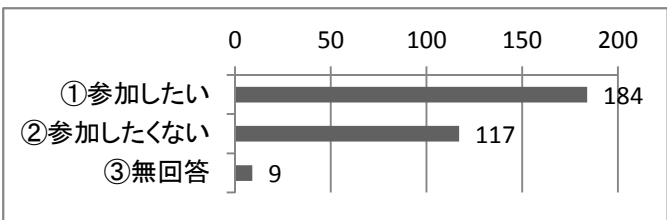
- ・図書館に寄ったらたまたまやっていた。
- ・知り合いが読み手だった。
- ・友人に誘われて。
- ・子どもに本を好きになってほしいから。
- ・保育園から案内があり、楽しそうだった。

「ない」の理由

- ・時間が合わない。
- ・都合がつかない。
- ・時間に余裕がない。
- ・いつどこでやっているかわからない。
- ・子どもが興味を持っていない。

読み聞かせイベントがあれば参加したいと思いますか

①参加したい	184
②参加したくない	117
③無回答	9



「参加したい」の理由(抜粋)

- ・子どもが本を好きなので。
- ・読んでくれる人が上手なので。
- ・独自の工夫があり、本を選ぶ視点の勉強にもなるため。
- ・親が読んであげられないので。
- ・子どもに本を好きになってほしいため。
- ・本に親しんでほしいため。
- ・新しい本を知ることができるから。
- ・聞く力がつくから。
- ・感情のこもった読み方で本の面白さを知ることができ、参考になる。

「参加したくない」の理由(抜粋)

- ・仕事のため多忙、時間が合わない。
- ・自分で本を読む力をつけさせたい。
- ・人が多すぎてゆっくり聞けない。
- ・子どもが興味を持っていない。
- ・子どもが自分で読むのが好き。
- ・子どもが黙って聞いていられないと思う。
- ・休日のイベントがない。
- ・子どもの想像力がなくなる。

市
へ
の
要
望

・市の読書行政に対する意見・要望等

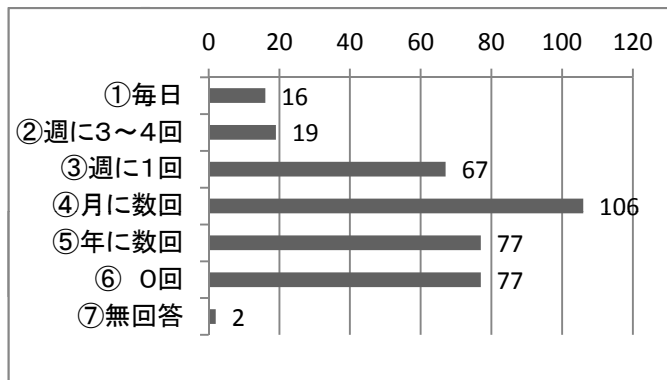
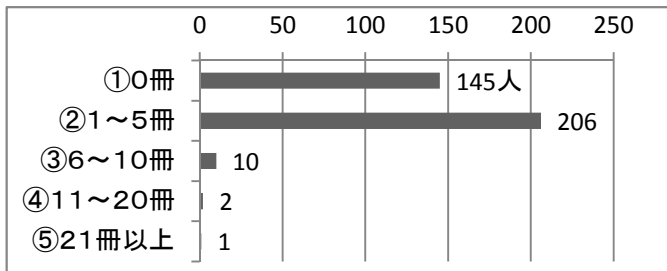
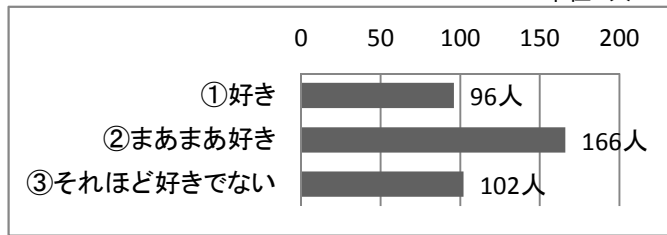
- ・図書館を新しくして明るい雰囲気にしてほしい。
- ・市立図書館の駐車場を広く。または、ジャスコ跡地等に新しい図書館を作ってほしい。
- ・図書館の読み聞かせの日にちや時間をもっと周知してほしい。
- ・小学生対象の読み聞かせを土・日曜日に実施してほしい。
- ・詩や短歌なども読み聞かせには良いのではないか。
- ・図書館が午後8時まで開いていたらどんどん利用したい。
- ・児童館や子どもの集まる場所で読み聞かせを行ってほしい。
- ・日曜日にイベントを実施してほしい。
- ・図書館にいろんな本を置いてほしい。
- ・早期にイベント情報を知りたい。
- ・面白い本をもっと紹介してほしい。
- ・図書館が静かすぎて利用しにくい。キッズルームなどがあればたくさん利用したい。

就学前児童の保護者へのアンケート

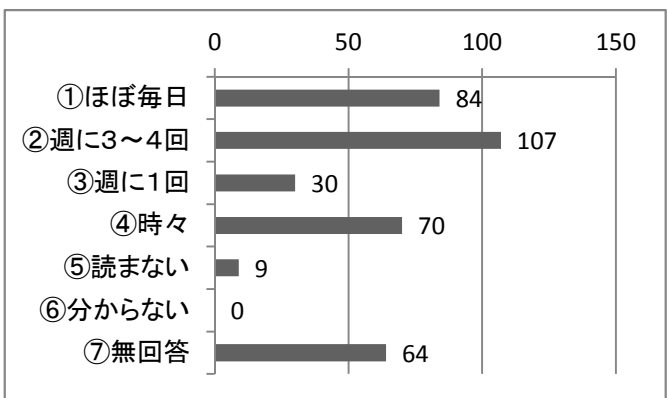
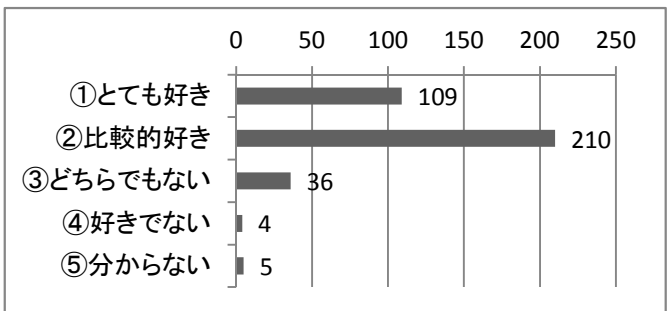
回答者数 市立保育園3園 364人

単位 人

保護者の読書活動	あなたは本を読むことが好きですか	
	①好き	96
	②まあまあ好き	166
	③それほど好きでない	102
	あなたは1カ月に何冊本を読みますか	
	①0冊	145
	②1～5冊	206
	③6～10冊	10
	④11～20冊	2
	⑤21冊以上	1
あなたは普段、どれくらい本を読んでいますか		
①毎日	16	
②週に3～4回	19	
③週に1回	67	
④月に数回	106	
⑤年に数回	77	
⑥ 0回	77	
⑦無回答	2	

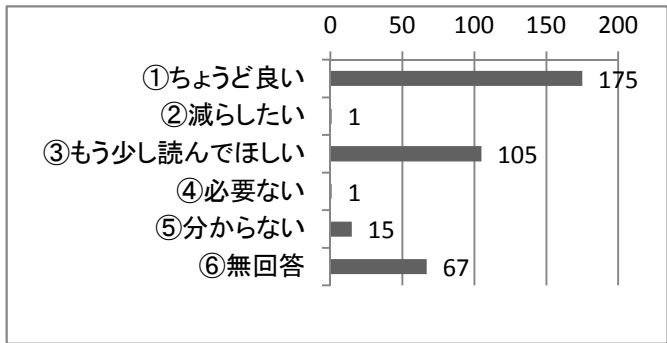


子どもの読書活動	あなたのお子さんは絵本を好きだと思いますか	
	①とても好き	109
	②比較的好き	210
	③どちらでもない	36
	④好きでない	4
	⑤分からない	5
	家庭でどのくらい絵本を読んでいますか	
	①ほぼ毎日	84
	②週に3～4回	107
	③週に1回	30
④時々	70	
⑤読まない	9	
⑥分からない	0	
⑦無回答	64	

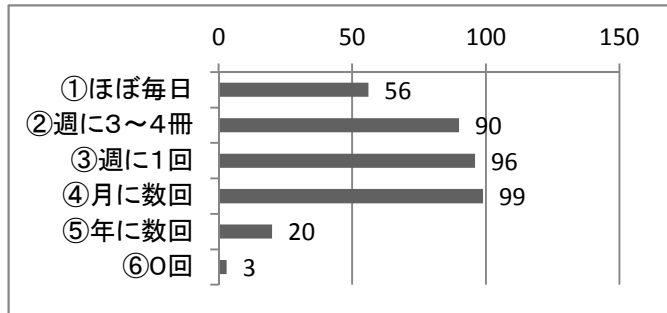


子どもの読書活動

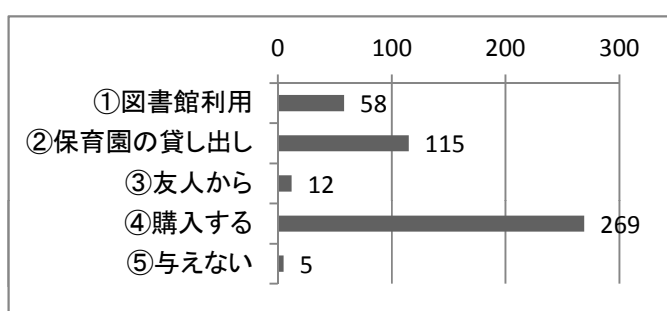
お子さんの読書量についてどう考えていますか	
①ちょうど良い	175
②減らしたい	1
③もう少し読んでほしい	105
④必要ない	1
⑤分からない	15
⑥無回答	67



家庭で読み聞かせや、いっしょに読書をすることはありますか	
①ほぼ毎日	56
②週に3~4冊	90
③週に1回	96
④月に数回	99
⑤年に数回	20
⑥0回	3



お子さんの絵本は主にどこで入手しますか (複数回答)	
①図書館利用	58
②保育園の貸し出し	115
③友人から	12
④購入する	269
⑤与えない	5



小・中学校の読書活動についてのアンケート

小学校 18校

中学校 10校

小・中学校へのアンケート

朝読書など、読書時間を設けていますか

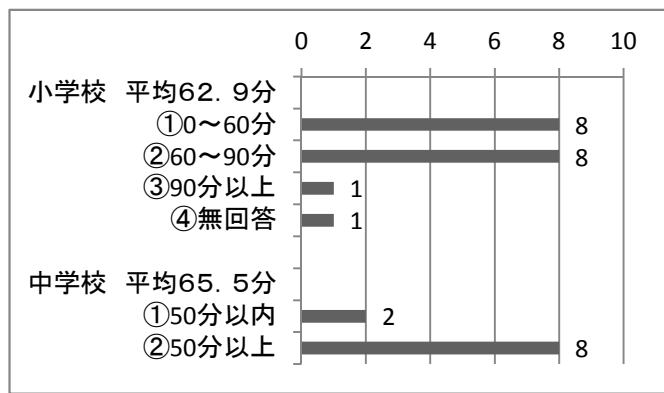
小学校	
①はい	18
②いいえ	0
中学校	
①はい	10
②いいえ	0

すべての小・中学校で読書時間を設けています

読書時間は週あたり何分程ですか

小学校 平均62.9分	
①0～60分	8
②60～90分	8
③90分以上	1
④無回答	1
中学校 平均65.5分	
①50分以内	2
②50分以上	8

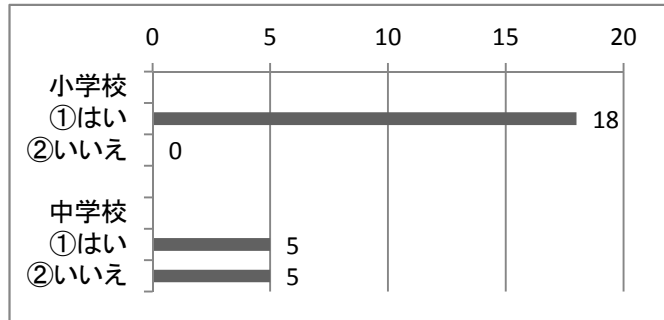
単位 分



読書を特に勧める企画の実施

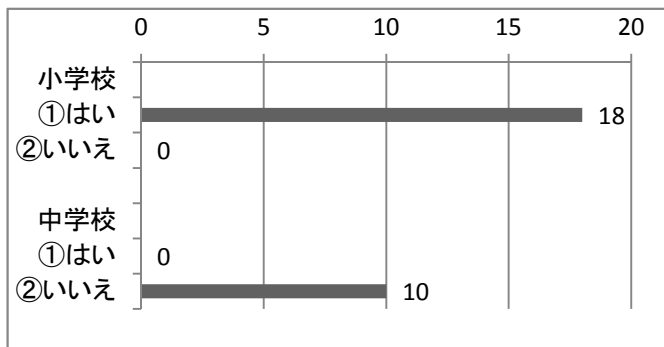
小学校	
①はい	18
②いいえ	0
中学校	
①はい	5
②いいえ	5

単位 校



読み聞かせ活動を行いましたか

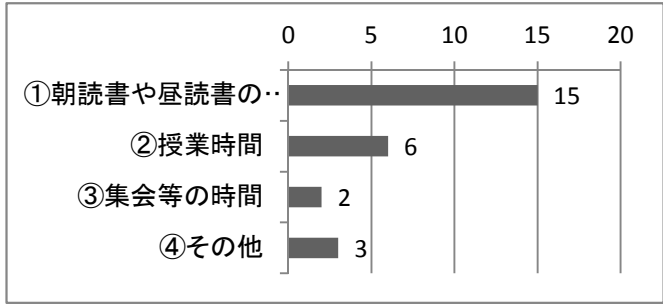
小学校	
①はい	18
②いいえ	0
中学校	
①はい	0
②いいえ	10



小・中学校へのアンケート

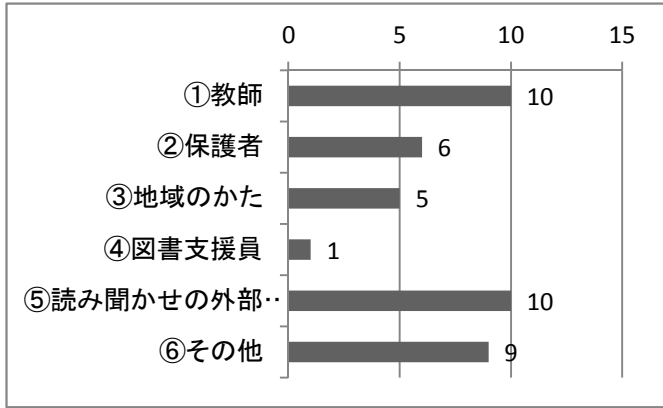
(小学校)読み聞かせは、いつ行いますか
(複数回答)

①朝読書や昼読書の時間	15
②授業時間	6
③集会等の時間	2
④その他	3



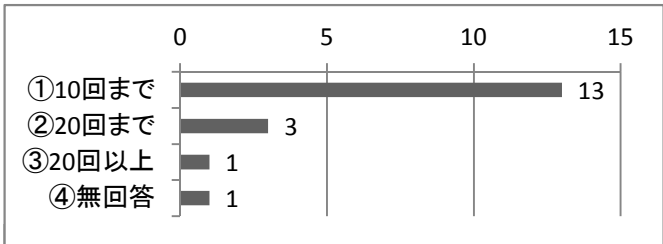
(小学校)読み聞かせを行ったのは(複数回答)

①教師	10
②保護者	6
③地域のかた	5
④図書支援員	1
⑤読み聞かせの外部団体	10
⑥その他	9



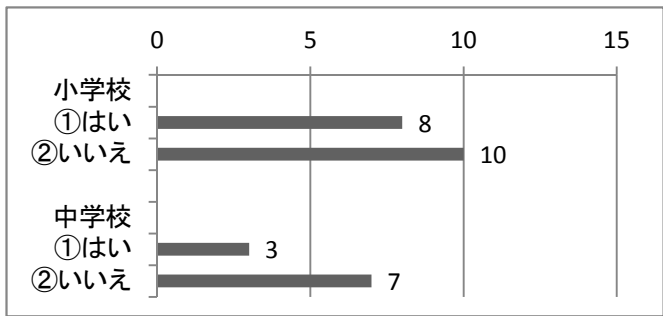
(小学校)読み聞かせを行った一学年の
平均回数

①10回まで	13
②20回まで	3
③20回以上	1
④無回答	1



親子読書奨励活動の実施

小学校	
①はい	8
②いいえ	10
中学校	
①はい	3
②いいえ	7



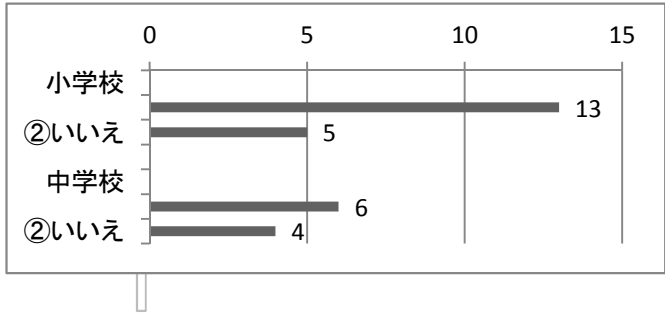
親子読書推奨活動の内容

- ・おたより等で呼びかけた。
- ・図書だよりで啓発。
- ・長期休業中の親子読書の推進。
- ・夏休みに親子で3冊以上同じ本を読んで、感想をカードに書く。
- ・週末に学校の図書館の本を持ち帰り、家庭で親子一緒に読書を行うように呼びかけた。
- ・「たっぷり読書運動カード」を家庭に配布し、時間を決めて親子での読書を奨励した。
- ・学校で、学年別必読図書を選定し、家庭にも紹介し、親子で読むことを奨励している。

小・中学校へのアンケート

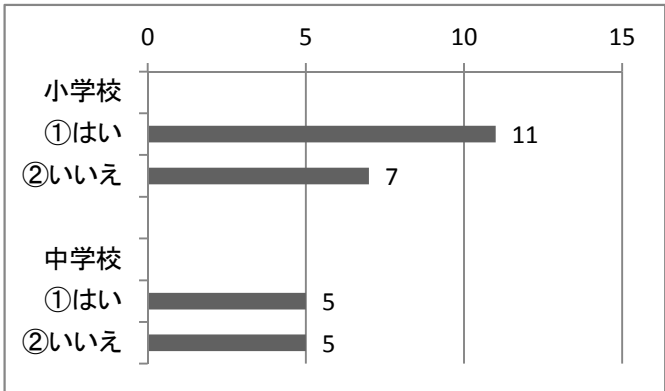
保護者や地域ボランティアの協力で
図書室の整備を行った

小学校	
①はい	13
②いいえ	5
中学校	
①はい	6
②いいえ	4



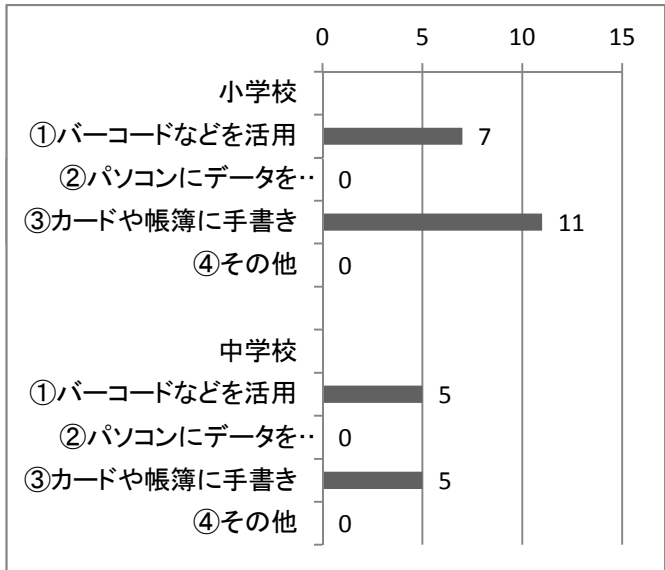
図書室の本のデータベース化

小学校	
①はい	11
②いいえ	7
中学校	
①はい	5
②いいえ	5



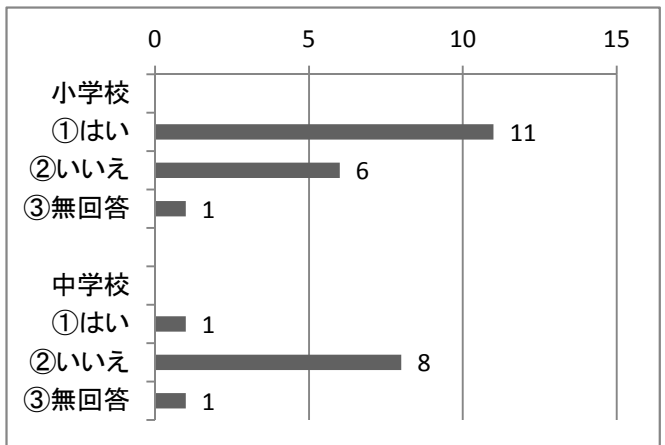
図書の貸し出しシステムは

小学校	
①バーコードなどを活用	7
②パソコンにデータを入力	0
③カードや帳簿に手書き	11
④その他	0
中学校	
①バーコードなどを活用	5
②パソコンにデータを入力	0
③カードや帳簿に手書き	5
④その他	0



児童生徒の学習に市立図書館を利用したか

小学校	
①はい	11
②いいえ	6
③無回答	1
中学校	
①はい	1
②いいえ	8
③無回答	1



小・中学校へのアンケート

市立図書館をどのように利用しましたか

- ・生活科や社会科での図書館見学。
- ・道徳、国語、社会、総合で学校にはない本を活用したい時や数がほしい時、司書を通じて借りている。
- ・国語の単元に関係のある図書をまとめて借りて、並行読書に活用した。
- ・学習内容に関連する図書を借りた。
- ・国語や理科、社会科や総合など、参考図書として活用。
- ・学習に必要な本を借り入れて、2年生が探検に出かけた。
- ・食育指導や国語(点字教材)の図書を利用。
- ・図書館の仕組みや図書の分類について学習するために図書館を見学し、その際実際に本を借り、貸し出し返却の仕組みについて学習。国語の学習において関連図書や調べ学習での資料等の紹介を依頼。

市立図書館を利用しない理由

- ・利用の手順が分からず学校の図書で間に合わせた。数が不十分なので今年度は利用したいと考えている。
- ・学校から距離があるのですぐに学習に利用するのが難しい。
- ・図書館までが遠く交通機関が無いため難しい。
- ・補助金を利用して必要な本を購入した(児童は放課後、市立図書館を利用している)。
- ・2年生が生活科で市立図書館に行き、館内を見学し、読書をした。

小・中学生の読書についてのアンケート

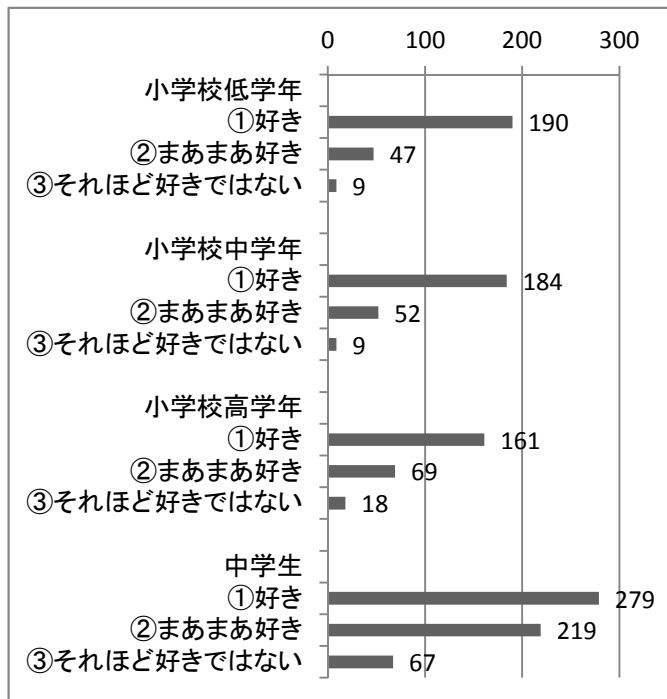
小学校 4校児童

中学校 2校生徒

単位 人

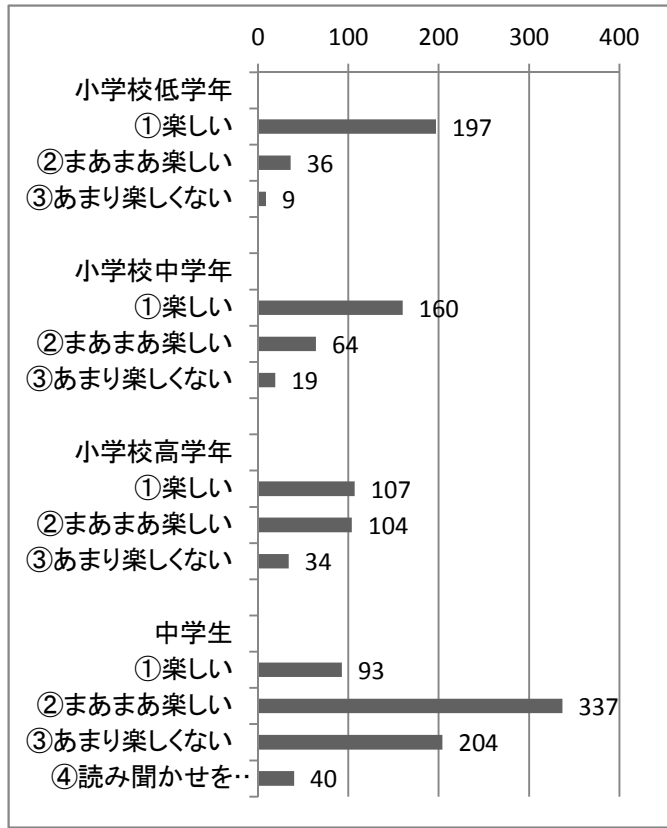
小・中学生の読書についてのアンケート

あなたは本を読むのが好きですか	
小学校低学年	
①好き	190
②まあまあ好き	47
③それほど好きではない	9
小学校中学年	
①好き	184
②まあまあ好き	52
③それほど好きではない	9
小学校高学年	
①好き	161
②まあまあ好き	69
③それほど好きではない	18
中学生	
①好き	279
②まあまあ好き	219
③それほど好きではない	67



小・中学生の読書についてのアンケート

本の読み聞かせは楽しいと思いますか	
小学校低学年	
①楽しい	197
②まあまあ楽しい	36
③あまり楽しくない	9
小学校中学年	
①楽しい	160
②まあまあ楽しい	64
③あまり楽しくない	19
小学校高学年	
①楽しい	107
②まあまあ楽しい	104
③あまり楽しくない	34
中学生	
①楽しい	93
②まあまあ楽しい	337
③あまり楽しくない	204
④読み聞かせを聞いたことがない	40

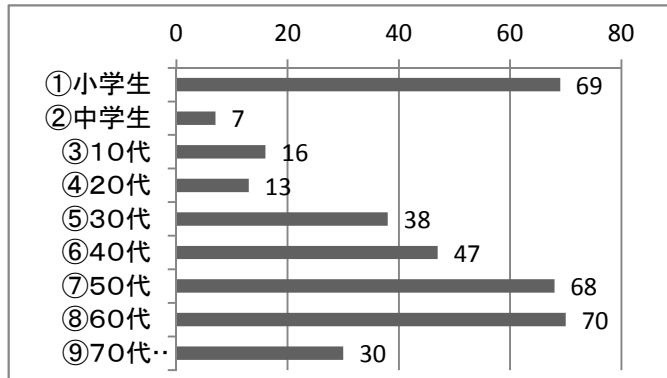


図書館と読書についての利用者アンケート

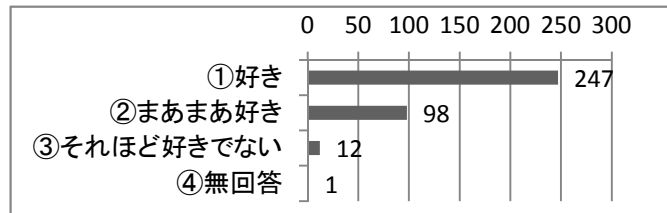
回答者 358人

単位 人

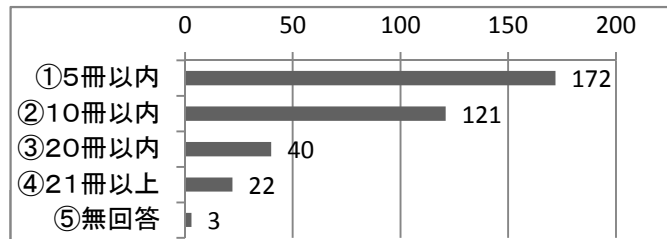
回答者の年代	
①小学生	69
②中学生	7
③10代	16
④20代	13
⑤30代	38
⑥40代	47
⑦50代	68
⑧60代	70
⑨70代以上	30



あなたは読書が好きですか	
①好き	247
②まあまあ好き	98
③それほど好きでない	12
④無回答	1

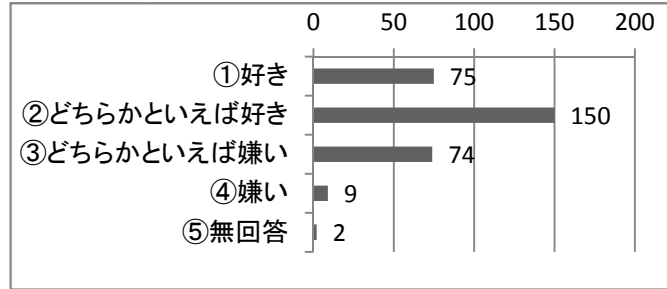


あなたは1カ月に何冊本を読みますか	
①5冊以内	172
②10冊以内	121
③20冊以内	40
④21冊以上	22
⑤無回答	3

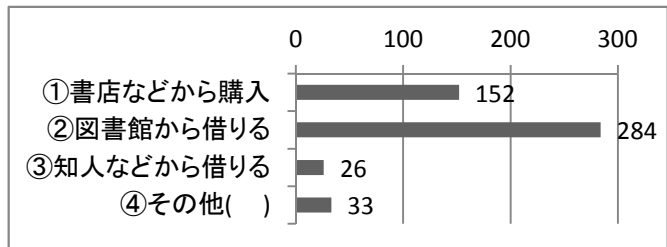


読書について

あなたから見てお子さんは読書が好きですか (子ども有りのかた)	
①好き	75
②どちらかといえば好き	150
③どちらかといえば嫌い	74
④嫌い	9
⑤無回答	2



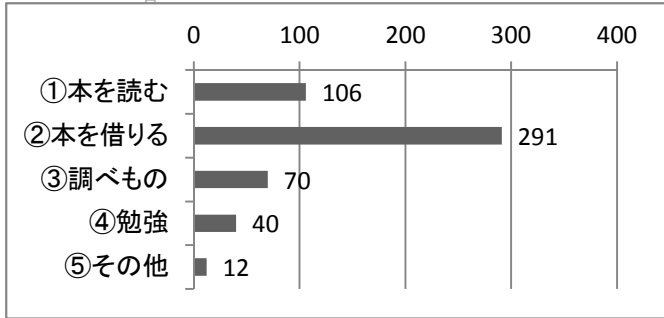
本はどこから入手しますか？(複数回答)	
①書店などから購入	152
②図書館から借りる	284
③知人などから借りる	26
④その他()	33



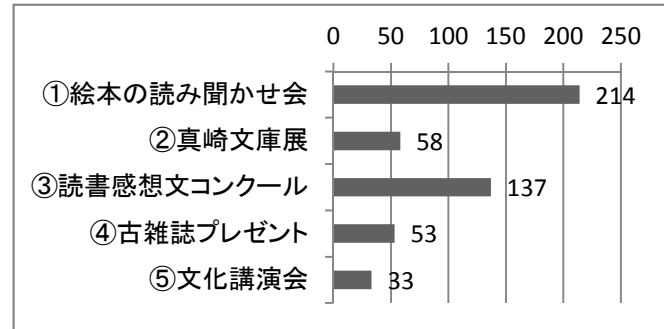
- その他として
- ・家族から借りる
 - ・学校の本
 - ・児童館や仲良しクラブの本

図書館についてのアンケート

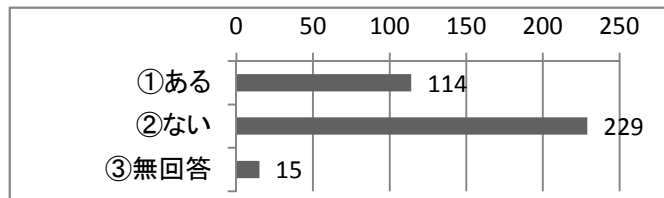
図書館をどのように利用していますか (複数回答)	
①本を読む	106
②本を借りる	291
③調べもの	70
④勉強	40
⑤その他	12



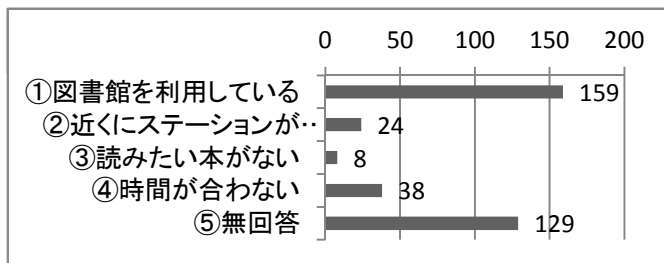
図書館で開催している事業を知っていますか (複数回答)	
①絵本の読み聞かせ会	214
②真崎文庫展	58
③読書感想文コンクール	137
④古雑誌プレゼント	53
⑤文化講演会	33



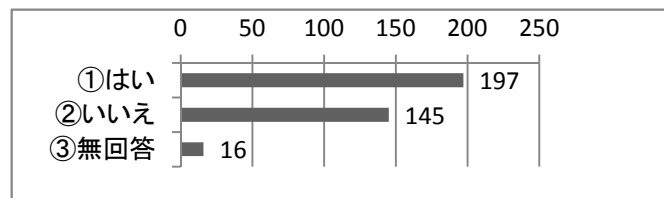
移動図書館車を利用したことはありますか	
①ある	114
②ない	229
③無回答	15



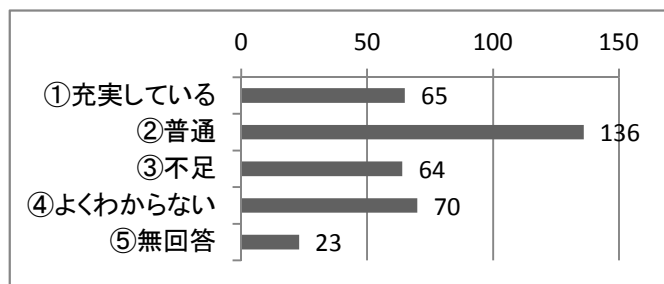
移動図書館車を利用したことがない理由	
①図書館を利用している	159
②近くにステーションがない	24
③読みたい本がない	8
④時間が合わない	38
⑤無回答	129



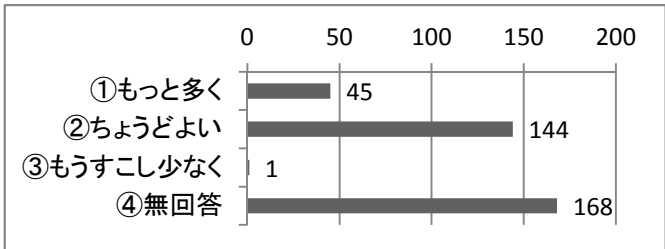
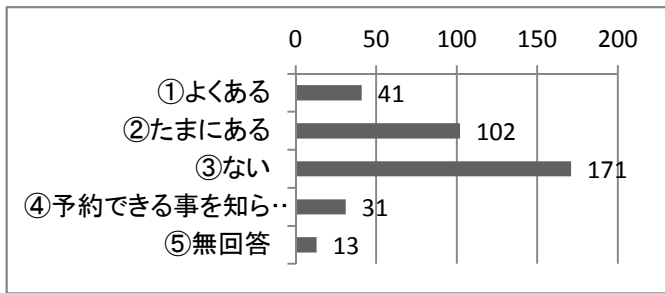
あなたの家族や友人も図書館(移動図書館車)を利用していますか	
①はい	197
②いいえ	145
③無回答	16



図書館(移動図書館車)の本は充実していると思いますか	
①充実している	65
②普通	136
③不足	64
④よくわからない	70
⑤無回答	23



図書館について	本の予約やリクエストをしたことがありますか	
	①よくある	41
	②たまにある	102
	③ない	171
	④予約できる事を知らなかつ	31
	⑤無回答	13
移動図書館の巡回回数はどうですか	①もっと多く	45
	②ちょうどよい	144
	③もうすこし少なく	1
	④無回答	168



巡回回数についてのご意見

- ・利用していないのでよくわからない
- ・いつ巡回しているのかわからない
- ・冊数と回数を増やしてほしい

図書館(移動図書館)へのご意見(ご自由にお書きください)

- ・本の並べ方(同じ著者)をそろえてほしい。姓名が同じでも名前が違う作者がいるのに、混ざっている。今は良くなったが並べ方が汚かったので、気をつけてほしい。
- ・予算を増やして、本の充実に努めてほしい。(雑誌、月刊誌が特に少ないと思う)
- ・今のままでも問題は無いが、勉強等をする本と、読書や新聞等の区割りをして勉強関連のコーナーを別にしてほしい。
- ・新刊のサイクルを早くして欲しい。
- ・個人では購入しにくい高価な本を購入していただくと大変うれしいのですが…。
- ・本のネット検索や予約ができるようになると良い。
- ・指定管理者制度と図書館どうもピンとこない、市の図書館含む文化施策は積極的とは言えないのでは。
- ・インターネットもできるようになって利用しやすくなったと思う。
- ・他の図書館の本も借りられるシステムは大変よいと思います。本を大切にみんなで利用できたら、もっとよいと思います。いつもありがとうございます。
- ・ネットで読みたい本を予約できたらいいと思う。
- ・おすすめ本のコーナーや月ごとのテーマ別の紹介がとてもいいと思います
- ・閉架用にも沢山読みたい本が有ります。どのような基準で閉架になるのでしょうか。
- ・予約受付や本が準備できた旨のお知らせを電子メールでできるシステム作りができないものだろうか。
- ・閉館をもっとおそい時間にして下さい仕事をしていると平日の利用ができません。
- ・開館時間が短いので、長くして欲しい。飲み物を飲む人へ注意して欲しい。ルールを守らない人が多いので。
- ・近所に図書館がないので移動図書館車に来てほしい。(釈迦内)
- ・(移動図書館車)子どもがかりられる時間帯に(3時半すぎ)に来ていただくとありがたいです。
- ・入れ替えを多めにしたい。
- ・移動図書館車が近くに来ているが、時間が合わず利用できない。
- ・移動図書館車は図書館が近いせいか、あんまり利用しているのを見たことがない。遠い方では楽しみにしているという友人もいるので続けていただきたい。
- ・いつもありがとうございます。図書館へ行けない時、移動図書館車があるので、本を読む機会が増えて助かります。

図書館へのご意見